

2022.8.7 付

2階の観客席から臨んだ5面のカーリングシート



どうぎんカーリングスタジアム

＝札幌市

夏のひんやり
スポーツ

⑤



指導員（手前）に教わりカーリングの基礎を体験する光陽中の生徒たち
（いずれも井上浩明撮影）

はプレーの会場。厚さ2〜3センチの水で覆われた幅4・75メートル、長さ約45メートルの「シート」が5面並ぶ。小学生から中高生、社会人やシニアまで、幅広い世代がカーリングの練習に励む。ホールを初めて目にした光陽中の生徒は「想像以上に広く、迫力がある。驚いた」と感想を漏らした。

シートのそばには原則、利用者や選手、関係者以外は近づけない。ただし、見学者は2階にある観客席で、シートと同じ室温5度の空気に包まれながらプレーを直接見ることが出来る。208席あり、車いす用スぺー

スは16台分確保されている。観客席からの見学は無料だが、大会開催日はコロナ対策などで入館を制限している。入館時には靴を脱ぐ必要があり、上履きがあると便利。寒い観客席に入らなくても、ガラス越しにホールを見学できるスペースもある。

人口190万人を超える札幌唯一の通年カーリング場とあって、稼働率は2021年度で94・9％に達する。プレーするには予約が必須だ。

スタジアムのスタッフによると、カーリング未経験者は、指

氷上ストーン投げ体験

導員付きの体験会を半年前から2カ月前までに予約するのがお勧めという。体験会では実際にストーンを投げ、ブラシで氷をこすってストーンの速度や方向を調節する「スワイプ」に挑戦することも可能だ。また、光陽中のように団体向け体験会も多く開かれている。

同中の1学年約120人のうち、過去にプレー経験があるのは1人だけ。ほぼ全員未経験者の生徒たちは、ストーンを投げたり、バランスを取りながら移動したりと基礎練習を重ねて、最後はミニゲームを楽しんだ。

体験会を楽しみにしていたという1年生の棚橋優さん（12）は「ブラシで氷をこすっているとき、滑って転んでしまった。でも面白い。トップ選手は体を安定させて動いているすごいと改めてわかった」と笑顔を見せた。（文・高津戸璃歩、写真・井上浩明）

次回は11日に掲載します。

＜メモ＞

カーリングシートの利用は1時間で一般1500円、学生750円。体験会は、10人以下（一般）の札幌市内在住者で1時間1万2000円など。午前10時から開館。閉館は月・木曜日が午後10時、金・土曜日が午後11時、日曜日が午後9時。休館は第3月曜日（祝日の場合は第4月曜日）。2階からの見学は原則無料。指導者が付かないシートの利用はオンラインの「札幌市公共施設予約情報システム」で申し込む。体験会予約の詳細はウェブサイト（<https://www.sapporo-sport.jp/curling/>）で問い合わせはスタジアム電話011・663・4572へ。